

保護者様

令和6年10月11日

川崎市立柿生小学校
校長 杉本 眞智子

令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査

本校の結果の概要と今後の取組について

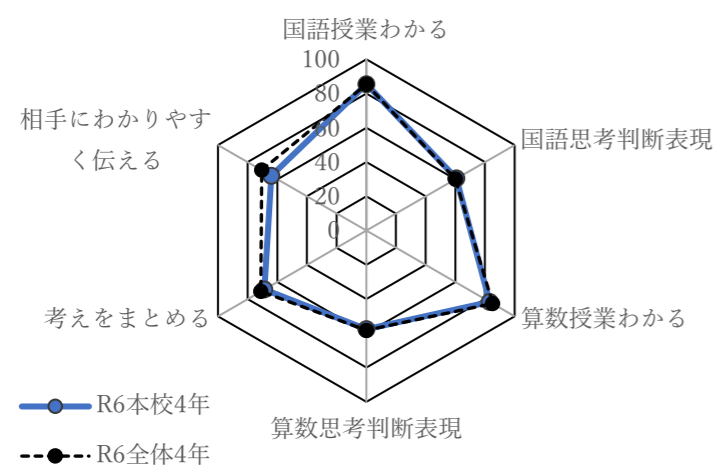
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月10日(水)～12日(金)に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日(木)に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育理念「自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子の育成」の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面です。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、学校報告会や学校説明会等でもお伝えします。

【学校教育理念】

「自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子どもの育成」
～学校・家庭・地域 オール柿生のウェルビーイングをめざして～

自立した一人の人間として、集団や社会の形成者としてよりよく生きる力を育てる。
他者を尊重し、多様性を認め合い思いやる力を育てる。
知識や技能、創造力や表現力など多彩な資質・能力を伸ばし、社会に貢献できる力を育てる。

令和6年度 川崎市学習状況調査 4年生

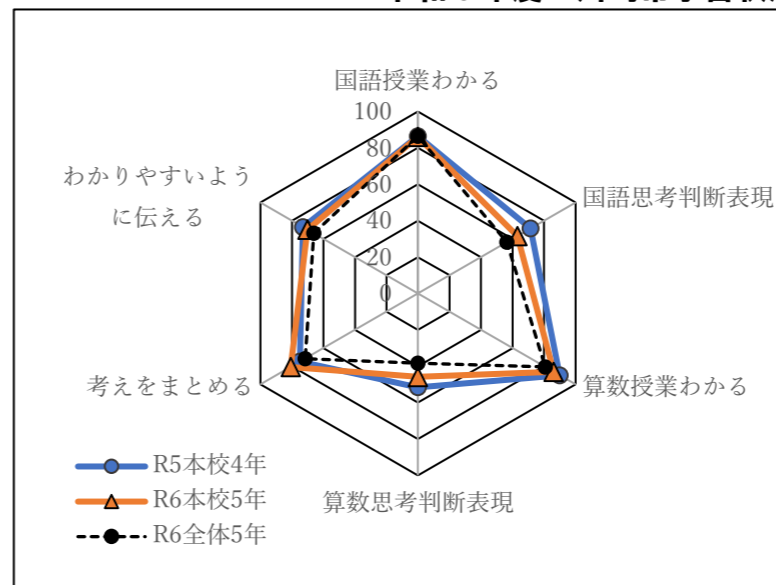


	国語 思考・判断・表現	算数 思考・判断・表現
R6 本校4年	60.8	57.6
R6 全体4年	60.1	58.2

・国語「思考・判断・表現」の観点における正答率は60.8%で、全国平均(グラフと表では「全体」と記載)の60.1%よりやや上回る結果となりました。授業の中では、既習内容や身に付けた知識・技能を活用し、協働的に学ぶ場面を多く取り入れるようにしています。今後も、自分の意見や考えを友達に伝える活動を通して、考えをまとめたり、どのように伝えたら相手がわかりやすいか考えたりすることを大切にした授業を計画・実践していきます。

・算数「思考・判断・表現」の観点における正答率は57.6%で、全国平均よりわずかながら劣る結果となりました。算数における思考力は、「筋道を立てて考える力」といえることができます。ただ単に答えを求めるのではなく、まずは問題をよく読んで、何を問われているのかをよく理解したうえで問題に取り組むこと、そして、なぜその式を立てることができるのか「理由づけ」をすること、そして、自分の考えを順序立てて「説明する」ことを大切にした授業づくりを心がけていきます。

令和6年度 川崎市学習状況調査 5年生

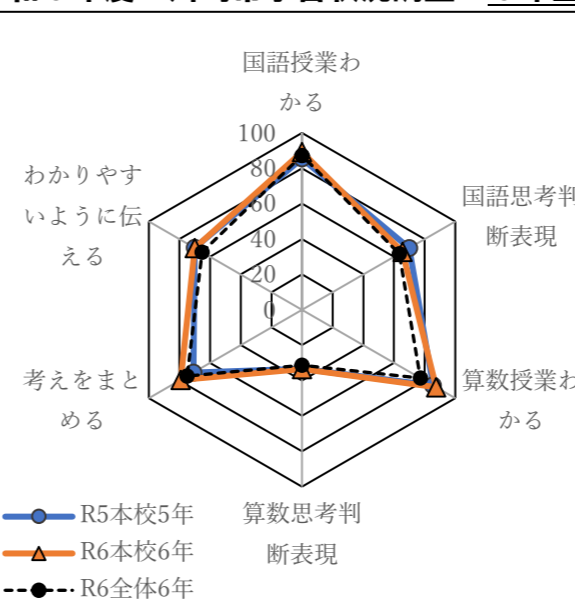


	国語 思考・判断・表現	算数 思考・判断・表現
R5 本校4年	71.4	51.6
R6 本校5年	63	45.8
R6 全体5年	56.4	38.4

・国語「思考・判断・表現」の観点における正答率は63%で、昨年度(4年時)よりは下がっているものの、今年度の全国平均を約7ポイントも上回りました。国語の学習においては、自分の考えを文章にして書く活動を多く取り入れています。「書く」ことは、自分の考えを順序立てたり、整理してまとめたりすることにつながります。他者に自分の考えを伝える際には、端的に、より分かりやすく伝える必要があります。「書く」とことに関連していると言えます。今後も引き続き、自分の考えを「書く」ことで思考力を高め、表現する力を育てることが出来る授業づくりに努めていきます。

・算数「思考・判断・表現」の観点における正答率は45.8%で、国語と同じく昨年度(4年時)より下がっているものの、今年度の全国平均を約7ポイント上回りました。高学年となり、学習内容がより難しくなる中で、既習内容を生かしながら、問題に対して順序立てて自分の考えをまとめる力が身に付いていると考えられます。今後もこの力をさらに伸ばしていくことができるように、児童がより主体的に学習に取り組めるような授業改善に努めていきます。

令和6年度 川崎市学習状況調査 6年生

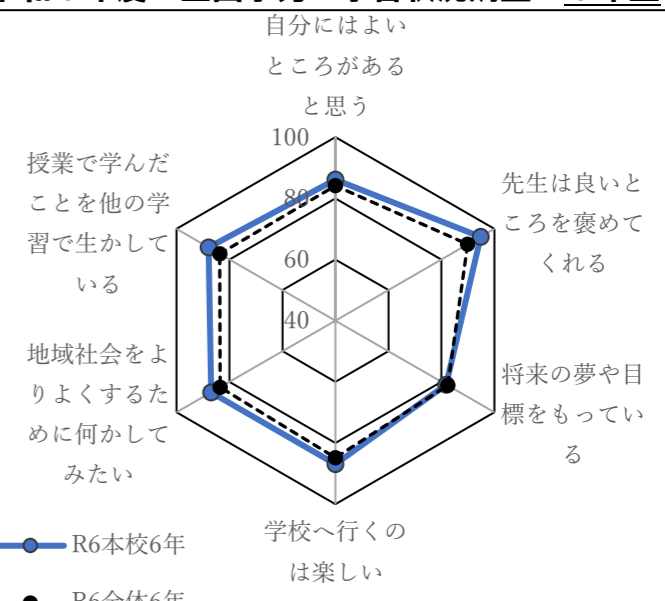


	国語 思考・判断・表現	算数 思考・判断・表現
R5 本校5年	70	33.3
R6 本校6年	65.5	33.5
R6 全体6年	63.4	31.4

・国語「思考・判断・表現」の観点における正答率は65.5%で、全国平均より約2ポイント上回りました。また、算数の同観点における正答率も、国語と同じく全国平均より約2ポイント上回りました。最高学年として、これまでの学習の積み重ねが身に付いていると考えられます。児童が主体的に学習に取り組み、自分の考えを積極的に発信することができるようにするために、引き続き授業改善に努めていきます。

・全国学力・学習状況調査の意識調査において「授業で学んだことを他の学習で生かしている」という質問に、87.9%の児童が肯定的な回答をしました。学習の中で得た知識や情報、それを活用する方法を、他の場面でも生かそうとする意識をもって学習に臨んでいる児童がとても多く、多様な学び方につながっていると考えられます。

令和6年度 全国学力・学習状況調査 6年生



	授業で学んだことを他の学習で生かしている	地域社会をよりよくするために何かしてみたい
R6 本校6年	87.9	86.9
R6 全体6年	83.7	83.5